



平成 26 年 8 月 6 日

明秀学園日立高校陸上競技部通信

夏休み特別号

～明るく・清く・凛々しく～

contents

- ・新キャプテン，副キャプテン紹介
- ・読書について
- ・9月の予定

学年別大会が終了し，7月22日から本格的に夏休みの練習に入りました。8月の合宿を前に他校との合同練習を数日行い，1年生は「これが夏の練習か・・・」と高校生活はじめての鍛錬期というものを実感しつつあるでしょう。

また，2年生に至っては，昨年の夏との比較をしつつ，秋の大会に向け自分の目標をどう具現化するか，考えを組み立てながら練習に取り組んでいることと思います。

今年の夏は当初の予報に反し，とても暑い夏です。しかし，我々の練習するところにはとても爽やかな風が吹いていると私は感じています。それは，海から陸に向かって吹く穏やかな海風ではなく，君たち自身が吹かせている風です。練習中，声を出し，友を励まし，つらくて厳しい表情になったとしても決して気の塞ぐような顔をしていません。爽やかな風というよりは雄風（勢いよく気持ちの良い風）と言った表現の方が適切かもしれません。もう暫く夏は続きますが君たちなら大丈夫です。頑張っって乗り切りましょう。

新キャプテン，副キャプテン紹介

キャプテン 佐藤 拓也 短距離（東海中出身）

副キャプテン 高橋 貴洋 短距離（小川南中出身）

3年生が7月の茨城県選手権を最後に引退しました。橋本キャプテンに代わり，約3週間はキャプテンを輪番制にし，1日交代で2年生全員にその役目を担ってもらいました。その意図ですが，キャプテンの仕事の把握を2年生全員にしてもらうことで仕事がいかに大変であるかを認識してもらい，（実際，3回程度では把握しきれないのですが）今後，キャプテンに全てを任せるのではなく「やれることは協力しよう」という自覚を2年生に持ってもらうためです。連絡，調整，諸々の事柄の把握，全体に対する配慮，私との練習に関する相談や，係りの仕事が円滑に行なえているかなどキャプテンの仕事は多岐にわたり，簡単なものではありません。今まで橋本キャプテンは苦勞しながらも自分の競技のことを考えつつ，みんなに配慮し，本当によく

リーダーシップを発揮してくれてきました。今後は，キャプテンと副キャプテン2人でチームを牽引していきます。みんなで協力し盛り立てていきましょう。

読書について I

夏休みの宿題の中で頭を悩ませるものの一つに「読書感想文」がありますね。君たちはあまり好きではないはずですが。日頃から私は君たちに本を読むように口を酸っぱくして言っていますがあまり読めてはいない実状は感じています。

回りくどく言いません。夏休み中に読書がどうしても苦手な人は1冊。そこまで苦手でない人は2冊。普通に読めますという人は3冊。読書好きな人は5冊は読みなさい。読書はあらゆる分野が用意され簡単に享受（きょうじゅ）〔受けおさめて自分のものにする〕ことができます。読書は，国語の力を構成している「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」「国語の知識等」のいずれにもかかわり，これらを育成するための中枢となるものです。特に，すべての活動の基盤となる「教養・価値観・感性等」を生涯を通じて身につけていくためにたいへん重要なものです。

情報化社会の進展は，自分でものを考えずに断片的な情報を受け取るだけの受身の姿勢を人にもたらしやすいといわれています。自分で考える必要があるからこそ，読書が一層，必要になるのです。

読書をするだけで言葉を知ることができます。物語の中で色々なイメージが掻き立たされます。自分の知らない価値観や，自分の考えと対立する考え方にも遭遇します。また，コミュニケーション能力の向上や文章を書く力にも必ずつながります。

君たちが練習でも実践している「やるからやる気が出る」を読書の活動でも生かしてみましよう。読む気が起きないのは読まないから。読むから読む気がでるのです。汗をかきながらの読書も乙です。

9月の大会予定

期 日	大 会 名	場 所
9月6日～8日	県新人大会県北地区予選	笠松運動公園
9月25日～27日	県新人大会（関東高校陸上選抜新人大会予選）	笠松運動公園